

第二学校給食センターを単独で早期に改築する（統合給食センターは見直し）

市長が施政方針で表明

これまで懸案だった学校給食センターの統合問題に対して、土屋市長は、「学校給食センターの統合は見直し、まず老朽化の著しい第二学校給食センターを単独で更新したいとする市教委の方針を理解し、その上で食育に関する現在の取組を整理するとともに、学校、家庭、地域等が連携して、更なる食育の推進に努めるよう依頼した」(3月議会の施政方針)

アンケート結果集計表 (2018年1月15日提出時)

	母数	賛成・ おおむね賛成	%	慎重・反対	%	その他の意見	
塩田地域中心	176	15	8.5%	115	65.3%	46	26.1%
丸子・武石地域中心	113	17	15.0%	86	76.1%	10	8.8%
真田・神科地域中心	115	7	6.0%	67	57.7%	41	35.3%
市街地中心	118	8	6.7%	81	68.6%	29	24.5%
合計	522	47	9.0%	349	66.8%	126	24.1%

アンケートには、522通が寄せられ「賛成・おおむね賛成」の意見は、「コスト削減につながる」という答えが多く、「慎重・反対」の意見は、「何かの時にリスクが大きい。」「コストより、食育を重視すべき」などの意見が多くありました。

記述されたものを、すべて打ち直して要望書に添えて、市教育委員会に提出、今後の方針を検討する際に、参考にするよう要請しました。

4月3日、総務文教委員会として第二学校給食センターを現地視察し、担当者から説明を受けました。老朽化が進んでいることがよくわかりました。(右側の写真)



市民アンケートを実施、多数意見は見直し

日本共産党上田市議団は、一昨年11月～翌1月にかけて、市民アンケートをとり、学校給食センターの統合問題についても市民の皆さんの意見を聞いてきました。その結果を、去年の1月15日、市教育長宛てに「教育行政(学校給食)に関する要望書」として提出してきました。アンケートの結果は右上に記載。

また、私は、市議選では選挙公報で「大規模学校給食センター計画は、食育と地産地消に逆行するもので、大幅に見直します。」としました。

大規模センターの問題点を指摘(アンケートへの回答)

昨年の「上田市政を考える母の会へのアンケート」には、私は次の回答しました。

【設問】市内小中学校合同の約1万食を賄う大規模給食センター建設について

【回答】大規模学校給食センター計画は、大幅な見直しが必要。その理由として、ア 災害時の対応、食中毒などのリスクを減らす。イ 食育基本法(平成17年)、食育推進基本計画(平成18年)など食育の基本方針に反するのではないかと。ウ 地産地消について、上田市のHPでは「上田市は、地場の農畜水産物を通じて、『食』と『農』を結びつけ、農業振興と市民の健康で豊かな食生活の実現に向けて取り組んでいます。」とあるが、この方向性にも反するのが大規模学校給食センターではないかと思えます。

フォト通信



(左) 3月10日佐久市で行われた「東信メガソーラー問題を考える集い&シンポジウム」に参加しました。飯沼自治会の皆さんから現地報告などもありました。(中) 3月27日、病児保育センターが丸子中央病院にできました。市内二カ所目。病気治療などの子どもを上田市の委託により預かる事業です。(右) 3月28日、丸子地域巡回バス「まりんこ号」の納車式がありました。真田町にゆかりのある方の寄付が財源とのこと。利用者の増加が課題ですので、ご利用ください。